

製品名: CD30-L ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab08351**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000, ICC/IF 1:200-1:1000, ELISA 1:10000-1:20000
分子量	30kDa

抗原情報

遺伝子名	TNFSF8
別名	TNFSF8; CD30L; CD30LG; Tumor necrosis factor ligand superfamily member 8; CD30 ligand; CD30-L; CD antigen CD153
遺伝子 ID	2965.0
SwissProt ID	P32971
免疫原	抗血清はヒト CD153 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 71-120

背景

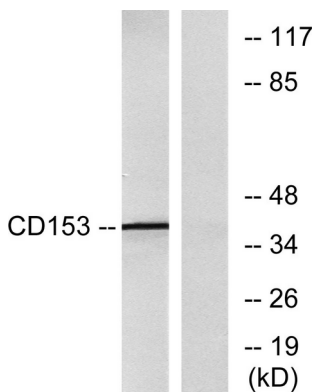
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、腫瘍壊死因子 (TNF) リガンドファミリーに属するサイトカインです。このサイトカ

インは、細胞表面抗原であり、ホジキンリンパ腫および関連する造血器悪性腫瘍のマーカーである TNFRSF8/CD30 のリガンドです。B 細胞表面に発現するこのサイトカインの関与は、免疫グロブリンクラススイッチの調節において阻害的な役割を果たします。このサイトカインは、一部のリンパ腫細胞株の細胞増殖を促進する一方で、他のリンパ腫細胞株の細胞死を誘導し、細胞増殖を抑制することが示されています。このサイトカインの様々な CD30 陽性リンパ腫細胞株に対する多面的な生物学的活性は、ホジキンリンパ腫および一部の非ホジキンリンパ腫において病態生理学的役割を果たしている可能性があります。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする 2 つの転写バリエーションが見つっています。 [RefSeq 提供、2011 年 11 月]、機能: TNFRSF8/CD30 に結合するサイトカイン。T 細胞の増殖を誘導する。、類似性: 腫瘍壊死因子ファミリーに属する。、サブユニット: ホモ三量体。、

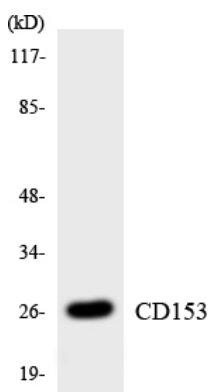
研究分野

サイトカイン-サイトカイン受容体相互作用;

画像データ



CD153 抗体を用いた RAW264.7 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



CD153 抗体を使用した K562 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。